

卓 話

平成 15 年 3 月 18 日

『プロ野球よもやま話』

月刊ドラゴンズ編集記者
フリーアナウンサー
木村 愛子様

皆さん今日は、木村愛子です。最近私は高貴な方の仲間入りをさせて頂きまして「愛子さま」などによく言われます。冗談はさておき、今日は森本曜子さんのピンチヒッターとして参りました。名の通り、代打の切り札になれるよう頑張りますので宜しくお願いします。今日は、「野球よもやま話」ということでドラゴンズ

ズを中心としてお話をしたいと思います。

私は創刊以来「月刊ドラゴンズ」の記者をしていますが、最近谷繁選手のインタビューをしました。彼は、昨年横浜から中日へ移籍をして来ましたが、低音で静かに話すとても素敵な選手でした。

まもなくペナントレースが開幕します。今日現在阪神がトップ、中日が4位、巨人は8位ですが今年はどうなるのでしょうか。この世界が長いので私は中日の優勝を3回見えています。あとの2回は星野監督の時代です。当時星野監督は指導者として選手をまとめるには、理論と愛情と少しの恐怖が必要と言っておられました。少しかどうかは知りませんがよく選手を殴っていたようです。反対に選手の奥さまの誕生日には必ずメモを添えて花束を贈るといふこととしており、女性の気持ちをつかむのも大変上手だったと言われて

います。

話があちこち飛んでしまいましたが開幕はもうすぐ、皆さんどうか今年の野球を楽しんで下さい。

今日はどうもありがとうございました。